

たくさん、^{ちくさん}畜産、^{さん}かながわ産。

11月第一日曜日は「かながわ畜産の日」



日本のアイスクリーム発祥の地
横浜・馬車道

県産畜産物の品目別生産量(令和3年)

牛乳 73万人分 (一人当たり年間消費量39.6kg)
豚肉 44万人分 (一人当たり年間消費量20.9kg)
鶏卵 100万人分 (一人当たり年間消費量20.2kg)

かながわ農林水令和5年度版(神奈川県環境農政局より)



かながわ畜産の日とは

神奈川県は横浜開港時の外国人を対象とした生産から160年を超える歴史があり、近年は戸数・頭数とも減少していますが、畜産物のブランド化や6次産業化の取組などがさかんです。

かながわの畜産が、これまで、県民のご理解のもと発展してきたことに感謝し、これからも、県民の期待に応える気持ちを込めて、本年11月5日、「かながわ畜産の日」を定め(※)、この日に記念イベントを開催するとともに、11月に県内各地で開催されるイベントなどを通じて神奈川県の畜産をPRすることで、県民の神奈川の畜産に対する理解を深め、神奈川の畜産の持続的な発展に繋がります。

※一般社団法人日本記念日協会の登録団体は一般社団法人神奈川県畜産会です

2023年の取組は

記念イベント開催 (11月5日)

湘南台公園に県産畜産フードが大集合!

農産物直売所などでかながわの畜産をPR (11月中)

地域の大型直売所や農場の直売所がかながわの畜産をPR

子どもたちにも「かながわの畜産」を知ってほしい (11月中)

学校給食への県産畜産物の提供に併せて食育活動等を実施



2023年の取組に関する情報はこちらをご覧ください

<http://kanagawa.lin.gr.jp>

